

初診以降の流れ

初診のご予約をいただきましたら、クリニックから初診の日程についてご連絡差し上げます。その後は概ね以下①～④の順に進みます。

① 初診の日は、Dr から簡単な問診をさせていただきます。

診察後、お子さまの様子を伺うためのフェイスシートを受付にてお渡しいたします。次回来院の際に、記入しご持参いただきます。

本日の予定が終わりましたら、次回の診察を受付にてご予約ください。

次回受診時に、問診、フェイスシートなどをもとに、Dr が検査のオーダーを出します。

*Dr から検査のオーダーが出ましたら、受付にてご予約をお取りします。

*どの検査をするかは、お子さまごとに様子を見て Dr が判断いたします。

*どの検査も毎日行っていません。発達検査・知能検査の予約枠は、その月ごと、担当者ごとに設定されます。予約可能枠ができ次第、ご予約順にクリニックからお電話にてご連絡いたします。曜日や時間のご指定がない方が、予約は取りやすいです。

② 発達検査・知能検査・心理検査・神経生理学的検査

当クリニック内で行っている検査

発達検査	知能検査
遠城寺式乳幼児分析的発達検査	田中ビネー (2歳～)
新版 K 式発達検査	WPPSI-III (2歳半～7歳3ヶ月)
ASQ-3	WISC-IV (5歳～16歳未満)
	WAIS-IV (16歳～)
	K-ABC (2歳6ヶ月から12歳11ヶ月)

心理検査	神経生理学的検査
描画テスト	K-CPT
バウムテスト	Rey 複雑図形検査
PARS-TR	
ロールシャッハ	

その他 ・ ADOS-2 ・ バインランド

<主な検査の紹介>

発達検査は、お子さまの運動や、言葉と認知の発達などを確認します。公認心理師が検査室で行う場合や、Dr が診察の中で行う場合もあります。

知能検査は、主に公認心理師が検査室で行います。所要時間は、およそ 40 分です。

田中ビネーは、年齢ごとに発達水準を検査できます。

WISC は、お子さまの発達の状態や得意・不得意を分析し、支援に活用することを目的とします。

K-ABC は、お子さまの知的能力を、認知処理過程と知識・技能の習得度の両面から評価し、得意な認知処理様式を見つけ、それをお子さまの教育に活かすことを目的とします。

★ 発達・知能・心理検査の予約について ★

検査の予約枠は、担当者ごと、その月ごとに決まります。

予約可能枠が決まり次第、ご予約順にお電話にてご都合をお伺いいたします。数ヶ月お待ちいただくこともございます。

検査結果が出るまで数週間いただきます。結果については後日 Dr から説明いたします。

③ 脳波検査

言葉の遅れ、運動発達の遅れ、落ち着きのなさがある場合、脳波検査で脳に何らかの所見が見つかる場合があります。その所見による疾患を正しく理解し、治療につなげます。

- ・ 脳の発達の状態を知るために行います。
- ・ 専門の臨床検査技師が検査を行います。
- ・ 1 時間ほどの検査です。
- ・ 睡眠の状態の脳波を取りたいので、眠い状態でお越しいただけるとよいです。
- ・ 検査室に入ると、頭に少しベタっとしたペーストを塗り、電極をつけていきます。そのあと横になっていただき、検査を開始いたします。
- ・ 検査中の痛みはありません。
- ・ 検査後すぐに結果がわかります。検査後、Dr から結果についてお話しいたします。
- ・ 予約は受付にてお取りします。

④ 検査の結果説明、生育歴聞き取り、診断

全ての検査が終わりましたら、その結果説明と、お子さまの生育歴を詳細に聞き取るための予約をお取りいただきます。

これらにはまとまった時間を必要としますので、基本的には、診療時間の合間（平日 12 時半～15 時、18 時以降）に設ける 30 分枠を、数回に分けてお取りいただくようになります。

<最後に>

お子様のご様子を詳しく診させていただくために、たびたびご来院いただくことになります。お子様と一緒になくてもよい場合もありますので、その都度ご確認ください。

また、①～④の全てが終わるまで、数ヶ月かかることが予想されます。

(月)～(金)は基本的に予約制となっておりますが、ご様子心配な時、相談があるとき、急を要する場合などは、予約なしでもご来院いただけます。(予約のあるなしで順番が前後する場合もございます。)お電話にて当日の状況をご確認いただくこともできます。

また、療育を早めにお受けになりたい場合は、随時ご相談ください。

★ 発達の状態を知るためには、さまざまな角度から情報を集めることが必要です。

情報には、聞き取りによる家庭での様子、学校園などにおける集団活動での様子、同年代の子との遊びの様子など、診察場面や発達・知能検査などの脳の活動の“反応“を見るもの、そして脳波検査やMRIのように、脳の活動を直接的に観察するものがあります。脳波検査は、体への負担がほとんどない検査です。